

MY WAY

私の歩んできた道 100人を振り返る

おおいたの時代を
切り拓いた
先人達の足跡!

「MY WAY -私の歩んできた道-」は、1993（平成5）年10月号から26年あまりに亘って連載しました。これまでに100人の方にご登場いただきました。郷土大分県の幅広い業種の地場企業の経営者、医療事業、教育、文化活動など、各分野でひたむきに努力され確かな業績を積み上げ、その業界をリードし社会に著しい貢献をしてこられた方々に、珠玉のエピソードあふれる「自分史」を語っていただきました。

今回、これまでに登場された100人を振り返り、一挙にご紹介いたします。皆様の語った自分史の一コマをダイジェストにまとめました。併せて各人のエピソードタイトル（◆）の一部等を掲載しました。

大正、昭和、平成、令和と、幾多の変革の波を乗り越え、社会情勢が劇的に変わる中、おおいたの時代を切り拓いてこられた方々の貴重な足跡です。

※社名、役職名等は弊社月刊誌「おおいたの経済と経営」に掲載時のものです。



株式会社 トキハ

代表取締役会長 **上妻 亨**

明治44年生まれ。中学時代は文学論を講じる文学青年。山口高商卒業後熊本衣料品店で丁稚奉公。昭和13年に竹町商店主共同出資設立のトキハデパート入社。率先垂範して売場に立ち、売上は増進。流通戦争時代「外に出て勝負する」か「内を固める」か最も悩み、日本の歴史から考えた。

◆ラグビー部 三月に冬物を 流通戦争 トキハのコンセプト

1993年10～12月号掲載 MY WAY 第一巻



株式会社 ダイコー

代表取締役会長 **吉村 益次**

大正13年、大分市生まれ。熊本薬学専門学校卒業後、吉村薬品の創業者の父が急逝し24歳独身で2代目社長に就任。27歳で青年会議所を設立し初代理事長になる。地域密着の薬品卸会社として、経営姿勢を正し誠実に忍耐強くお客様本位に徹する努力を重ねた。昭和44年にダイコーを設立。

◆15人の大家族 何事も人より早く やる気と知恵と心配り

1994年1～3月号掲載 MY WAY 第一巻



小野建株式会社

会長 **小野 基一**

大正14年生まれ。早稲田大学商学部卒業後、父創業の家業・小野建材社（金物商）に就き、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」を実践で徹底的に叩き込まれた。昭和32年「鉄のメッカ」北九州市小倉に進出。事業発展には蓄積が必要であると社訓「五つの蓄積」を定め指針としている。

◆御召し列車 早慶戦とコロケ 土地と付帯事業 五つの蓄積

1994年4～6月号掲載 MY WAY 第一巻



川澄化学工業株式会社

取締役社長 **川野 巧**

大正12年生まれ。京都高等蚕糸学校（京都工芸繊維大学）卒。特攻隊生残りとして戦後復興に尽力。東京工業大学高分子科学研究所にて日本初使い捨て輸血セット開発。塩化ビニールベルト等のヒット商品を実用化。昭和32年川澄化学工業設立。「理念を貫く」ことが会社経営で最も重要。

◆ベルトとフラフープと研究所 手形 人工腎臓と技術屋魂

1994年7～9月号掲載 MY WAY 第一巻



フンドーキン醤油株式会社

取締役会長 **小手川 力一郎**

大正11年生まれ、臼杵市出身。大分高等商業学校（大分大学）在学中に学徒出陣。復員後、味噌・醤油製造販売の家業・小手川商店に就く。座右の銘は「独立自尊」と「経営者として人のしてない事は絶対先にしない。新しい物を取り入れて自分の物にする地盤は作っておく」である。

◆アンボンタン主計少尉 生協と七点社長 伯母、野上弥生子

1994年10～12月号掲載 MY WAY 第一巻



江藤酸素株式会社

取締役会長 **江藤 博**

大正4年生まれ。終戦後に義兄と常磐鉄工所を創業。一般向塩鍋を作る過程で知った鉄工所の酸素不足ニーズに目を付け、昭和21年に佐伯市内で江藤酸素店を開業。リヤカーを引き一軒々開拓していった。後に佐伯で初めて家庭用プロパンガスを販売。昭和33年に江藤酸素株式会社を設立。

◆台湾第二連隊 大分工場建設と泰照神社 付加価値三分法

1995年1～3月号掲載 MY WAY 第一巻



株式会社 後藤組

代表取締役会長 **後藤 勲**

大正9年生まれ。昭和17年東京大学を卒業後、都城連隊に入隊。孤立状態の玉砕予定地ラバウル戦線を体験。復員後、後藤組に入社。兵庫パルプ工場の進出において鶴崎地元反対派との交渉に対峙。昭和34年、大分市長選に急遽出馬することとなった父に替り39歳で社長に就任した。

◆大工の家 日米開戦 舌禍 ラバウルへ 兵庫パルプ事件
1995年4～6月号掲載 MY WAY 第一巻



菅原工業株式会社

代表取締役会長 **菅原 茂**

大正5年生まれ、広島県出身。呉から飛行機組立工場建設目的に大分海軍航空廠に派遣され着任。宇垣中将率いる最後の特攻隊機「銀河」を整備、複雑な心境で見送る。戦後は実父の菅原鉄工所の手伝いに津久見に移住。昭和37年大分市に進出、後に工作機械メーカー「菅原工業」設立。

◆軍人挫折 サイパン 中止になった結婚式 野球部の申し出
1995年7～9月号掲載 MY WAY 第一巻



清酒 西の関 醸造元 萱嶋酒造有限会社

代表取締役 **萱嶋 須磨自**

大正11年生まれ。中学3年サイクリング旅行中、闇夜で九死に一生を得る。東京大学在学中に学徒動員、東京大空襲を体験。終戦後、帰郷し家業に就く。父逝去により34歳で社長就任。明治時代から「品質主義」を標榜しており、昭和50年頃より「品質一貫一世紀」をキャッチフレーズに。

◆吟醸酒市販のささげ 酒屋の主人の役割 結婚式の酒
1995年10～12月号掲載 MY WAY 第一巻



御菓子司 菊家

代表取締役会長 **斎藤 智**

昭和5年生まれ、岩手県一関市出身。16歳で仙台「開花庵」に弟子入り、菓子職人の道へ。人の倍以上の働き・努力の結果、通常丁稚から10年要するのを4年で修学。鹿児島「菊屋」勤務を経て、26歳で別府にて「菊家」開店。東京職人仲間から「九州のおやじさん」と呼ばれ親しまれた。

◆父の代役 16歳で商売の道へ 運命を変えた栗饅頭
1996年1～4月号掲載 MY WAY 第一巻



鶴崎海陸運輸株式会社

代表取締役会長 **疋田 功**

大正14年生まれ。大分商業学校卒。「冒険ダン吉」に憧れ、夢を追って赤道直下の島パラオ南洋庁に就職。終戦後、水平式海苔栽培に取り組む。大分・鶴崎臨海工業地帯の構想実現の第一歩となる工場誘致の反対運動では矢面に立つ。昭和35年「鶴崎海陸運輸」設立。社訓は「先手必勝」。

◆餓鬼大将 南の島 南洋へ 乗っ取り事件 飲めない酒
1996年6～8月号掲載 MY WAY 第一巻



株式会社 サンヨーコーヒー 取締役会長
株式会社 三洋産業 代表取締役社長

中塚 茂

昭和7年生まれ、京都市出身。戦時中、叔父を頼って緒方に疎開。戦後、義兄設立の「三洋珈琲商会」に入社。一発勝負を賭け「珈琲ドリッパー」を考案し特許申請。ドリッパー販売により、これからは製造業だと決意。昭和48年に製造部門を分離独立させ、三洋産業を設立した。

◆必死の開拓 産みの苦しみ 特許 軽自動車とベンツ
1996年10～12月号掲載 MY WAY 第一巻



大分製紙株式会社
日本フィルム株式会社

取締役社長 **田北 豊**

昭和2年生まれ。大分経専(大分大学)卒業後、教員を経て大阪の貿易会社に就職。駆け寄ってくる戦災孤児に戦争の非情さを目の当たりに。昭和28年、26歳で大分製紙の専務に就任。大阪万博の帰途、船中で出会った者との酒盛りでの提案を契機に、昭和47年に日本フィルム株式会社を設立。

◆父のステッキ 新産業都市始動 トイレットペーパー騒動
1997年1～3月号掲載 MY WAY 第二巻



二階堂酒造有限会社

代表取締役会長 **二階堂 暹**

昭和5年生まれ。実家は酒蔵「喜和屋」(日出町)。常温発酵し売れる分だけ造れば良い「焼酎」に注目し試行錯誤の日々、研究を重ねる。麦麴のみならず副原料にも麦を使用した焼酎は全国初のもの。「健康に良い麦焼酎」のキャッチフレーズで売り出した。信条は「誠実努力」。

◆造り酒屋の息子 ラブレター 杜氏 元祖100%麦焼酎
1997年4～6月号掲載 MY WAY 第二巻

MY WAY 私の歩んできた道 100人を振り返る



株式会社 三浦造船所

代表取締役社長 **三浦 隆雄**

昭和5年生まれ、佐伯市出身。泳ぎが得意であだ名は「潜りの三浦」。昭和20年、南郡合同造船所に入社、以後15年間に亘って修行を積む。昭和35年、29歳で独立。ニワトリ小屋の一角に机を持込んだ事務所でゼロからの出発。翌年、三浦造船所初の建造船「日吉丸」が竣工。

◆城山饅頭 三本の矢 ニワトリ小屋からの出発 船が船を呼ぶ
1997年8～10月号掲載 MY WAY 第二巻



株式会社 石井工作研究所

代表取締役社長 **石井 見敏**

昭和10年生まれ、呉市出身。高校2年の時、初販売のソニー・テープレコーダーに魅せられ真似をして作成。金型屋を目指し25歳で上京。29歳で自宅を工場代わりに金型製作を開始し創業。昭和54年「石井工作研究所」を設立し、組織で経営を行える集団に変えた。数多くの特許を取得。

◆杉の実鉄砲 ポケットに入るラジオ 半導体は変動体
1997年11月～1998年1月号掲載 MY WAY 第二巻



加藤石油株式会社

取締役会長 **加藤 住生**

大正6年生まれ、武蔵町出身。中学まで毎日往復40kmの自転車通学を5年間続けた。大分高商（大分大学経済学部）卒業後、満州ハルピンの三井物産に勤務。戦後、竹田市内の間屋（米、肥料、油）に嫁入りし商売家業を手伝いはじめた。「成名毎在 窮苦日 敗事因多 得意時」が座右の銘。

◆毎日40kmの自転車通学 南京での捕虜生活 大水害と末吉市長
1998年2～4月号掲載 MY WAY 第二巻



株式会社 さとうベネック

代表取締役社長 **佐藤 諄之助**

昭和2年生まれ。早稲田大学政経学部卒業。岐阜県大垣市の郷組に入社し、中国電力明塚発電所建設工事現場、過酷な仕事の日々を体験。昭和28年帰郷、佐藤組入社。基礎固めに注力し「どんぶり勘定」からの脱却、「経理の体系化」に取り組む。「誠実・努力・根性」が社是。

◆立派な家 救いの神 企業の盛衰 生涯の恩人 新社屋完成
1998年6～8月号掲載 MY WAY 第二巻



八鹿酒造株式会社

代表取締役社長 **麻生 太一**

大正15年生まれ。九州高等医学専門学校（久留米大学医学部）中退。昭和24年父の逝去により家業を継ぐ。蔵に掲げられた祖父の書「笑門」は八鹿の中心となる教え。テレビ普及時期に新たな試みとして天気予報「八鹿の歌」を登場させた。エンディングフレーズに南こうせつさんを起用。

◆風呂場で食べたにぎりめし 58年ぶりの再会 八鹿の広告大作戦
1998年9～11月号掲載 MY WAY 第二巻



株式会社 清風荘

代表取締役相談役 **牧野 恭三**

大正10年生まれ、佐賀県出身。特攻隊の生き残り。復員後、結婚を機に別府・旅館「清風荘」の牧野家の婿養子となり経営に携わる。昭和57年、長崎ホテル清風オープンの2日後、「長崎大水害」が発生。水害復旧基地にホテルを提供し災害復旧に貢献。座右の銘は、「場に入って賢し」。

◆宇佐海軍航空隊 ホテル街建設ラッシュ 経営立て直し十戒
1998年12月～1999年2月号掲載 MY WAY 第二巻



ヤマキ株式会社

代表取締役社長 **佐藤 利定**

昭和2年生まれ、大分市出身。父創業「山喜絲店」が前身。昭和35年父逝去により社長就任。2部7課制の組織管理体制を敷き、社是として5つからなる“私達の信条”を考え抜いた。柳生新陰流の極意「一眼、二足、三胆、四力」を経営の場に置き換え、日々行動するようにした。

◆商売の極意 水と水蒸気 千日革命論 五つのS
1999年6～8月号掲載 MY WAY 第二巻



臼杵運送株式会社

代表取締役会長 **足立 颯**

大正11年生まれ、臼杵市出身。昭和20年8・15クーデター未遂事件の関連部隊に所属。28歳で臼杵運送設立。昭和41年、新規荷主を求めて大分市に進出。「サントリーあるところ臼杵運送あり」と事業を全国展開。会社経営のモットーは「あまり無理するな」。「適正規模」を信条とする。

◆日本の一番長い日 三つの縁談 報恩の精神 経営者の宿命
1999年9～11月号掲載 MY WAY 第二巻



山内興産株式会社
ヤマウチ調理食品株式会社
株式会社 豊の国健康ランド

代表取締役会長 **山内 啓祐**

大正8年生まれ、三重農学校卒。台湾にて代用教員勤務を経験。戦後、千歳村で米配給所を始め、三重町で精麦事業に携わる。「経済は変わっていく。自由経済には永続するものはない。時代に合うものを自分で見つけ変わっていかねば」との教訓を経営の礎に、数多くの事業を手がける。

◆台湾での代用教員 お父さん、パンが食べたい 健康温泉に活路
1999年12月～2000年2月号掲載 MY WAY 第二巻



株式会社 佐伯建設

代表取締役会長 **川崎 安太**

大正14年生まれ。陸軍士官学校在学中に終戦。復員後は別府米軍キャンプ建設現場で働く。明治大学商学部で学び直し、三菱鉱業勤務を経て佐伯建設入社。昭和58年社長就任。「強い企業体質を実現し、事業の永続的発展と全員幸福を目指す」を基本理念に、積極的に社内効率化を推進。

◆敗戦の心の痛み 洞爺丸事件 個性あふれる友・内田孝氏の思い出
2000年3～5月号掲載 MY WAY 第三巻



株式会社 マルミヤ下川

代表取締役社長 **宮野 雅良**

昭和12年生まれ。終戦後、満州から蒲江町へ帰郷。大浜炭鉱、菓子問屋、運輸手勤務等を経て、24歳で青果卸「宮野青果」創業。昭和47年、佐伯市で「マルミヤストア」を設立し、スーパーマーケット経営を開始。県南地域一番店の地位を確立。24年後に株式上場の「夢」を果たす。

◆営業はスピードこそ命 忘れられないお客様からの一枚のハガキ
2000年7～9月号掲載 MY WAY 第三巻



社会福祉法人 栄光園

園長 **小郷 穆子**

大正15年、京都市生まれ。昭和10年、別府市の初代観光課長に招聘された父に伴い神戸から別府へ移住。学徒動員により航空機工場で働く。終戦後は教員勤めの傍ら、父が設立した「基督教栄光園」を手伝う。ダンスホールでの若き文学者との出会いが趣味で小説を書くきっかけに。

◆心打たれた搭乗員達のやさしさ 「敵主力見ユ」小説帆足正音
2000年10～12月号掲載 MY WAY 第三巻



協栄工業株式会社

代表取締役会長 **田中 昭次**

昭和2年生まれ。早稲田大学専門部工業化学科で定成分析や定量分析を学ぶ。新日本ゴム工業や三信工業等を経て、昭和45年、協栄空調を設立し、昭和52年に協栄工業へ社名変更。信用構築、積み重ねを重要視し、社は「積」、社訓は「堅実、結果、報酬」。振り返らないという主義。

◆昭次の上に昭次なし、昭次の下に昭次なし 都町の思い出
2001年1～3月号掲載 MY WAY 第三巻



合資会社 海地獄

代表取締役社長 **千壽 健夫**

昭和8年生まれ、東京目黒区出身。立教大学野球部に1年所属。巨人軍・長嶋茂雄等の有名選手と知り合う。丸紅へ就職し商社マンとして東奔西走。名古屋時代、トヨタの企業哲学は人生観に多大な影響を与えた。昭和52年、3代目社長に就任。別府の湯けむり風景の世界遺産登録が夢。

◆地獄めぐりの始まり アルゲリッチ音楽祭から吉本新喜劇まで
2001年6～8月号掲載 MY WAY 第三巻



清家石油株式会社

代表取締役会長 **清家 孝**

昭和4年生まれ。学徒動員で佐賀関製錬所にて働く。終戦後、出光興産に入社し、漁業従事者専門に漁船の燃料販売を開始。昭和26年、出光興産と特約店契約し清家石油店を創業。昭和35年、日出町に第1号ガソリンスタンドを開設。日出町商工会会長として「陽谷駅」実現に尽力。

◆日出町一番のガキ大将 オイルショックの危機 人間こそが命
2001年9～11月号掲載 MY WAY 第三巻



九州乳業株式会社

代表取締役社長 **江藤 源哉**

昭和10年生まれ。鶴崎高校卒業後、「牛200頭飼う九州一の酪農家になろう」と闘志を燃やす。酪農乳業界が激変する最中、昭和57年に九州乳業社長に就任。積極的に改革・改善を促進。長期的ビジョンを立て、野津原町に「みどりの王国」、久住町に「みどり高原牧場」を実現させる。

◆リアカー引き 三つの関門 広がる夢 燃える闘志 男女の組み合わせ
2001年12月～2002年1・3月号掲載 MY WAY 第三巻

MY WAY 私の歩んできた道 100人を振り返る



中央発条工業株式会社

代表取締役社長 **竹内 一晃**

昭和9年生まれ、名古屋市出身。東京理科大学卒。北里柴三郎博士研究所でアルバイトを経験。東京で双眼鏡設計に携わる。昭和32年中央発条工業に入社。ばね製造技術水準の向上に本格的に取り組む。品質第一を念頭に社内規格（CIS）をJIS規格に準じ制定。昭和40年社長就任。

◆わが家にお泊りになられた昭和天皇 生き残りを賭けて

2002年4～6月号掲載 MY WAY 第三巻



株式会社 姫野一郎商店

代表取締役社長 **姫野 勝俊**

昭和17年、竹田市生まれ。早稲田大学では非常に有意義な4年間を過ごす。八欧電機（商標ゼネラル）仙台勤務で営業活動を経験。昭和42年、帰郷し家業の椎茸問屋を手伝う。商店後継者の長男の集まり「甚六会」活動等は後のまちづくりへ発展。平成9年竹田商工会議所会頭に就任。

◆安保闘争、運命の6月15日 金庫の底の「支払済み手形」

2002年7～9月号掲載 MY WAY 第三巻



株式会社 若竹園

代表取締役会長 **牧 二郎**

昭和5年、山口県生まれ。韓国光州で終戦を迎え帰国。福岡商科大学（福岡大学）卒業後、日の出証券に就職。入社2年目の春、別府出張所の所長として赴任。お客様紹介により、縁があり牧家と養子縁組。証券マンからお茶店の後継者となる。4期、12年間、大分商工会議所副会頭を務める。

◆木下サーカス団、馬との出会い 喜びを感じた100周年興行

2002年10～12月号掲載 MY WAY 第三巻



株式会社 ダイプロ

代表取締役会長 **山田 實**

昭和2年、岩国市生まれ。岩国商業学校卒業後、岩国陸軍燃料廠に勤務。終戦後LPG（液化石油ガス）販売の大洋プロパン瓦斯の第1号社員となる。縁あり「大分プロパン瓦斯」出向後、昭和46年に社長就任。独立採算制度と分社政策を推進。平成3年、株式会社ダイプロに社名を変更。

◆授業をボイコット 愛する舞鶴ラグビー部 質実剛健、土曜商才

2003年1～3月号掲載 MY WAY 第四巻



株式会社 桃太郎海苔

代表取締役会長 **姫野 睦喜**

大正11年生まれ。大在郵便局電報配達員を経て、満州に渡り「満州電々」に入社。戦後、捕虜時代体験をもとに塩炊きの仕事をする。その後、「海苔」を天職と定め、3万円を元手に海苔商売を始めた。大分県内で最初に「味付け海苔」製品化に成功。昭和43年「桃太郎海苔」設立。

◆水汲み1000回 青雲の志 桃太郎海苔誕生 夢と理想は果てなく

2003年4～6月号掲載 MY WAY 第四巻



学校法人 別府大学

理事長 **西村 駿一**

昭和5年、別府市生まれ。感性豊かな少年期を過ごす。武蔵野美術学校卒業後、大阪箕面第二中学校教師、別府短大講師などを経て、昭和61年、別府大学理事長就任。地域に開かれた学園として教育・学術活動を展開。油絵制作では、常に新しいものを求め、美しい世界の表現に努めている。

◆多感な少年期 演劇「象の死」 俳人倉田紘文先生と出版

2003年7～9月号掲載 MY WAY 第四巻



木梨ふぐ九州店株式会社

取締役会長 **木梨 惟貞**

昭和3年生まれ。幼年時から詩吟と剣舞を習う。広島陸軍幼年学校生時に終戦。中央大学法学部に進学。銀座の料亭「菊亭」に出入りし、主人から直接業界の仕入れの仕組を学んだ。昭和29年、帰郷して自宅で木梨商店を開業。質素・堅実を心がけ「うすきふぐ」発展に尽くした。

◆臼杵人気質 夢は軍人 フグとの出会い「菊亭」合縁奇縁に感謝

2003年10～12月号掲載 MY WAY 第四巻



明大工業株式会社

代表取締役会長 **藤本 憲明**

大正15年生まれ、徳島県池田町出身。30歳の時、別府で温泉ボーリング事業を始める。第1号鬼山地獄の掘削実績は評判を呼ぶ。昭和38年、九州土地開発有限会社を設立、昭和50年に現社名へ変更。新潟地震を機に地質調査業へ転換。“現場第一主義”が哲学。臼杵石仏復元工事で貢献。

◆「根性持ち」の少年時代 温泉大革命 臼杵石仏の復元

2004年1～3月号掲載 MY WAY 第四巻



屋根の版画家

てらし かつじろう
寺司 勝次郎

昭和2年、大分市生まれ。旧制大分中学(大分上野丘高校)グライダー部所属。ゼロ戦に憧れ鹿児島海軍航空隊入隊。戦後、大分経専(大分大学経済学部)で絵画部創設。福岡相互銀行員や長久堂広告宣伝業務を経て版画家として独立。第一回スペイン美術賞バルセロナ展の優秀賞を受賞。

◆グライダー部 特攻訓練 県美展に間に合わない 悔し涙 ポリシー

2004年4～6月号掲載 MY WAY 第四巻



三和酒類株式会社

にし たいちろう
代表取締役会長 **西 太一郎**

昭和13年、宇佐市生まれ。享保創業の酒蔵で屋号「豊国屋」が実家。東京農大農学部醸造学科卒。赤松本家、熊埜御堂、和田の三酒造が共同出資設立した「三和酒類」に西酒造も参画。生え抜き社員第1号で「生涯一営業マン」として歩いていく。「いいちこ」開発では毎日が試飲の日々。

◆苦労と流した汗の結晶 いいちこ 美空ひばりが終生愛したお酒

2004年7～9月号掲載 MY WAY 第四巻



有限会社 古山乳業

こやま のぶたか
代表取締役会長 **古山 信孝**

昭和4年、佐賀関町生まれ。中学時代は大変なガキ大将。学徒動員で博多の軍需工場で苦労。昭和43年、近代的処理設備の新工場設立を機に店頭販売に着手。フルーツ牛乳を大分県で初めて製品化。ピンから紙パックへの変遷過程で「自動販売機で販売」という大きなチャンスが到来。

◆深田光霊先生の教え 夫婦二人三脚 佐賀関商工会議所の会頭

2004年10～12月号掲載 MY WAY 第四巻



学校法人 溝部学園

さがら のりこ
理事長 **相良 範子**

大正15年、別府市出身。県立第一高女卒業後、大分合同銀行亀川支店に勤務。初任給は33円。銀行での学びや知識は後の学校経営の実践に役立つこととなる。終戦後、母親が自宅で裁縫等を教える別府高等技芸学校を開校、現在の溝部学園の礎となる。昭和39年、理事長に就任した。

◆高崎山萬寿寺 決死の現金搬送 姫山の由来 ラクテンチでの決意

2005年1～3月号掲載 MY WAY 第四巻



元 株式会社 サンビック

おの けさお
代表取締役会長 **小野 今朝雄**

大正13年、臼杵市生まれ。結婚を機に、卸売商を営む妻の実家・小野雄商店の跡継ぎに。「小さな卸売商と共に、共存共栄」の思いで県内一円に販路を開拓。「常に半歩先を見て」を念頭に、卸売業社が共に生き残るため企業合併を推進。「鶴崎踊り」の国指定無形民俗文化財指定にも尽力。

◆叔父の家の躰 お見合いのつもりが、就職 販路拡大 アメリカ視察

2005年4～6月号掲載 MY WAY 第五巻



株式会社 オリエンタル歯科器材

なかた ゆきひさ
代表取締役 **中田 介央**

大正12年生まれ。昭和25年、大分市顕徳町に中田薬店を開業。その後、大分中学時代の友人の助言により歯科機器・器材業に参入。自転車の荷台に商品を詰めたトランクを載せ、日田市や玖珠町まで営業した。昭和63年、「オリエンタル歯科器材」に社名変更。平成11年厚生大臣賞を受賞。

◆ニヵ月で大学中退 ミッドウェイ開戦 ブドウ糖製造 日中友好

2005年7～9月号掲載 MY WAY 第五巻



大分日産自動車株式会社

はしもと いちろう
代表取締役社長 **橋本 一郎**

昭和5年生まれ。昭和25年、父が社長を務める大分日産自動車に入社。見聞を広げたいと中央大学経済学部への編入を決め、退社。卒業後に再入社。県内の自動車販売業界全体の健全な成長のため、ルール作りにも尽力。平成6年、日本自動車販売協会連合会大分支部長に就任。

◆フランス語に魅せられて 名車ブルーバード誕生 取らぬ狸の皮算用

2005年10～12月号掲載 MY WAY 第五巻



株式会社 長浦製網所

ながうら よしひで
代表取締役社長 **長浦 善英**

昭和12年、宇佐市長州生まれ。昭和35年、父が営む製網会社に入社。入社後販売ルート拡大に着手し、県内から宮崎県、鹿児島県、さらに長崎県へと販路を拡大した。アラスカからの問合せを機に漁網の輸出を開始。宇佐青年会議所の設立や一村一品運動の誕生など地域おこしにも貢献。

◆攻めの経営 着服事件 幸運のタグ 世界相手の過酷な営業

2006年1～3月号掲載 MY WAY 第五巻

MY WAY 私の歩んできた道 100人を振り返る



株式会社 ホームインブループメントひろせ

代表取締役 **廣瀬 舜一**

昭和13年生まれ。早稲田大学大学院にてマーケティングを専攻し、卒業後に家業の陶磁器販売の道に進む。現在の府内町一番館ビルの場所で、僅か12坪の陶磁器小売店を開業。事業規模を拡大したいとの思いから、アメリカや首都圏での視察を通じ、大型店経営への思いは強い決意となった。

◆粉ミルクの悲劇 アメリカにいけば日本の10年後が見える 盛和塾大分

2006年4～6月号掲載 MY WAY 第五巻



株式会社 ヤノメガネ

代表取締役会長 **矢野 峯生**

大正10年生まれ。大分商業学校卒業後、眼鏡店を経営する父の勧めで京都の「俣野眼鏡舗」にて丁稚奉公。昭和21年、戦時強制疎開により閉店した父の眼鏡店を再開。昭和36年、業界初のボランタリーチェーンに加盟。昭和43年、個人経営から法人組織に変え「株式会社ヤノメガネ」設立。

◆思い出のレンズカッター 焼け野原の市街地 AJOC

2006年7～9月号掲載 MY WAY 第五巻



大分共和株式会社
株式会社 手芸のいとや

代表取締役会長 **長野 正経**

昭和10年、台湾北部の基隆生まれ。終戦により小学生の時、父の出身地である玖珠町に引揚げた。経済的な理由により大学進学を諦めて高校を中退。雑貨や衣料品の問屋勤めを経て、22歳の時に小間物問屋の行商を開始。昭和37年、大分駅前に店を構えるにあたり、会社を法人化した。

◆木立峠の思い出 赤い糸を卸す ミニ事件簿 小取りの精神

2006年10～12月号掲載 MY WAY 第五巻



株式会社 マリーンパレス

代表取締役会長 **二宮 吉男**

昭和7年、神戸市生まれ。3歳の頃、父が祖父経営の「大分魚市場」に入社し、大分に移る。学習院大学卒。昭和47年、父の旧友・上田保氏から自身が社長を務めるマリーンパレスの支配人に誘われ、入社。別大国道の拡幅に伴い、国や市と粘り強く交渉し、移転リニューアルを決定。

◆生涯の恩人 天皇陛下と同期生 突然の結婚 二年頑張ったら…

2007年1～3月号掲載 MY WAY 第五巻



書家

西村 春斎

昭和8年、京城生まれ。終戦により父の出身地、佐賀県に引揚げ。佐賀中学校に編入し、登校初日に書道部入部。高校3年時、全国席書コンクールに出場し、日本一となる。大学では書道を中断したが、就職した食料品卸会社で大分県に赴任した際、県美展に出品し、特選一席に選ばれる。

◆とっておきの話 学窓に輝く星 書ほど諸はない 筆塚と春斎壽藏

2007年4～6月号掲載 MY WAY 第六巻



福永海運株式会社

取締役会長 **福永 文隆**

昭和9年、旧南海郡米水津村生まれ。佐伯鶴城高校卒業後、父の営む水産加工業を手伝う。徐々にイワシが獲れなくなり、海運業への進出を決めた。昭和34年に中古船を購入し、日向市から関西方面に林産物の搬送を始めた。昭和44年、「福永海運株式会社」を設立。

◆ペニシリンが効いちょらん 兄弟の羅針盤 冒険と挑戦の人生

2007年7～9月号掲載 MY WAY 第六巻



有限会社 野田麗花園

代表取締役会長 **野田 文彦**

昭和3年生まれ。高等小学校卒業後、14歳で国鉄に入社。戦後、父の意向により、家業である「野田花店」を手伝うため、国鉄を退職。35歳のとき、塩九升通り商店会会長に就任。その後も商店街連合会や商工会議所などの役職に就き、多くのイベントの立上げや運営に尽力する。

◆お召列車に乗務 立退き騒動 長浜さま 上妻さんの教え

2007年10～12月号掲載 MY WAY 第六巻



株式会社 デンケン

代表取締役 **石井 四郎**

昭和17年、臼杵市生まれ。臼杵高校卒業後、事務職に就いたが性に合わず退職。電子工学専門学校で学び直し、東京の電子関連企業に就職。32歳の時、Uターンを決断し大分で再就職。社内ストライキにより再就職先が清算となり、取引先企業から継続業務の打診を受け、創業を決意。

◆芸能スカウト 間借りからの船出 熱意に優る才能はない

2008年1～3月号掲載 MY WAY 第六巻



株式会社 鶴見運送
会長 ^{みうら}三浦 ^{しげる}繁

昭和6年、鹿児島県生まれ。薬問屋に就職するが、21歳のとき仕事を辞めて鹿児島高商に進学。卒業後、乳酸菌飲料の販売会社に就職し、社内拡販コンクールで全国一となる。実績が認められ、本社研修所講師等を経て、大分県の販社へと出向。定年退職時に販社の輸送部門を引継ぎ、独立。
◆薬問屋で丁稚奉公 ヤクルト拡販大会で全国一に 30年来の夢
2008年4～6月号掲載 MY WAY 第六巻



丸果大分大同青果株式会社
代表取締役会長 ^{むらかみ}村上 ^{としお}年夫

昭和4年生まれ。大分交通入社後、労働運動レッドパージにより解雇となる。その後は、「焼き芋屋」、「米の担ぎ屋」、「野菜の行商」などで収入を得る。大分市青果組合連合会では、労働組合での組織運営の経験を活かし、事務局長に就任する。新規市場の運営会社設立に尽力する。
◆恋の逃避行 ゼロ戦エンジンの埋蔵 日本一の精算システム
2008年7～9月号掲載 MY WAY 第六巻



大木化粧品株式会社
取締役会長 ^{こさか}小坂 ^{えいじ}榮治

昭和5年生まれ。国立久留米工専機械科卒業後、化粧品卸業を営む父の勧めにより、大阪の頭髮化粧品メーカーに就職。昭和27年、父の会社を手伝うため大分に戻る。卸売業界の競争激化を受け、関西最大の化粧品卸と資本提携し、「大分化粧品株式会社」設立、31歳で社長に就任。
◆おタネばあさん ティッシュペーパー 桂文枝 地球ピカピカ大賞
2008年10～12月号掲載 MY WAY 第六巻



日豊タクシーグループ株式会社
代表取締役会長 ^{ふくもと}福本 ^{ただお}忠男

昭和4年生まれ。鶴崎工業学校卒業後、化学メーカーの採用通知を受けるが、父に反対され家業のタタミ屋を手伝う。長男の誕生を機に、妻の実家の自動車部品販売会社に入社。大分の新産都建設により地元鶴崎のタクシー需要が伸びると感じ、昭和36年、「日豊タクシー有限公司」設立。
◆金払いが良かったタクシー会社 創業以来の最大のトラブル
2009年1～3月号掲載 MY WAY 第六巻



川崎かぼす農園
代表 ^{かわさき}川崎 ^{もとすけ}元助

昭和元年、津久見市生まれ。終戦後のどん底状態から抜け出すため漁船を建造。26歳でマグロ船の船主になるが座礁大破し裸一貫に。「金をかけずにやれる事業」と考え、養豚業を始め、成功したが、周辺の都市化に伴い世間の目が厳しくなり、きっぱりと廃業。カボス農園経営に転身。
◆七転び八起き的人生 打開のために一芝居 三位一体の相乗効果
2009年4～6月号掲載 MY WAY 第六巻



株式会社 ヤクシン
代表取締役会長 ^{やくしんじ}薬真寺 ^{かつひさ}克尚

昭和12年、津久見市生まれ。高校卒業後、家業の青果問屋や運送会社を経て、ラジオ大分（現大分放送）へ入社。実家の運送会社とアート引越センターとのフランチャイズ契約に関わったことを機に、大分放送を退社し、起業する。その後、輸入車販売、葬祭業、ホテル業へも進出。
◆空気を売って商売 電話番号は0123 チャンスを見逃さない
2009年7～9月号掲載 MY WAY 第七巻



岡本自工株式会社
代表取締役会長 ^{おかもと}岡本 ^{かつみ}勝美

昭和19年、宇佐市生まれ。自動車時代の到来を予見し、高校を中退して自動車の専門学校に進学。卒業後、トラック修理工場を開業。車両修理に訪れた自動車部品メーカーが下請先を探していたことを機に、自動車部品事業に参入。「時流に乗った商売」を常に考え、様々な事業に挑戦した。
◆家を飛び出した16歳の春 生木の修理工場 副業で大儲け
2009年10～12月号掲載 MY WAY 第七巻



三信産業株式会社
取締役会長 ^{おの}大野 ^{つくお}嗣男

昭和15年、旧満州国生まれ。終戦後、父の故郷大分へ。明治大学卒業後、銀行勤務を経て消費者金融を開業する。建設ブームを背景に配管材などの資機材販売業に進出。建設用仮設機材のリース事業にも進出し、利用者の利便性向上や事業効率化のため、県内各地に機材センターを整備した。
◆ご成婚パレード 国税庁の査察官 やられる前に福岡に逆進出
2010年1～3月号掲載 MY WAY 第七巻

MY WAY 私の歩んできた道 100人を振り返る



株式会社 萬洋

代表取締役会長 宮崎 文男

昭和11年、杵築市生まれ。別府の竹製品問屋に就職する。長女が生まれたことを機に独立。個人商店を設立し、竹製品卸に参入。意匠登録商品の考案に注力し、順調に業績を伸ばす。別府の商品をアメリカへ輸出したのを皮切りに、貿易業に参入。円高を受け、アジアからの輸入を開始。

◆竹の鈴を考案 サンプル代 上海事務所 倫理研究所
2010年4～6月号掲載 MY WAY 第七巻



株式会社 ダイナソ

取締役相談役 但馬 克介

昭和16年生まれ。丁稚奉公をしていた布団店が倒産。「これからの時代は付加価値の高い商品を生み出す技術力が必要になる」と考え、洋裁学校に通う。卒業後、子供服メーカー勤務を経て独立するが、借金を抱え廃業。会社員として衣料品営業や服作りの仕事を経験した後、再び独立。

◆倒産から学ぶ 会社の規模が半分に 中国進出 運を掴まえる体制
2010年7～9月号掲載 MY WAY 第七巻



株式会社 おおやま夢工房

代表取締役社長 三笥 善八郎

昭和10年生まれ。高校1年のとき、退学して大山農協へ就職。農協職員として「NPCハワイ旅行団」、「大山エノキ」などに尽力。農協常務理事、町議会議員を経て、平成7年、町長に就任。地域活性化のため、まちづくり会社「おおやま夢工房」を設立し、「ひびきの郷事業」に取組む。

◆梅栗のアロハシャツ 大山の民主化運動 プロジェクトX
2010年10～12月号掲載 MY WAY 第七巻



声楽家

立木 稠子

昭和17年生まれ。大分上野丘高校では音楽部に在籍し、「滝廉太郎記念コンクール」などで好成績を収める。音楽の道に進むことを決め、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。卒業後はフランスに留学。帰国後、県立芸術文化短期大学にて教鞭を執る。平成4年、県立芸術文化館館長に就任。

◆父・立木勝 バリ五月革命 20世紀最大の巨匠 心理音声学 聲明
2011年1～3月号掲載 MY WAY 第七巻



医療法人健裕会 永富脳神経外科病院

理事長・院長 永富 裕文

昭和9年、福岡市生まれ。代々続く医者の家系に生まれ、子供の頃から医者になることを決める。九州大学第一外科に入局し、当初は一般外科を目指したが、脳神経外科医の勉強する姿に圧倒され、脳神経外科の道に進む。昭和45年、大分県立病院に脳神経外科が創設され、初代部長に就任。

◆大友宗麟の御殿医 ガンマナイフ治療 ボクシングドクター
2011年4～6月号掲載 MY WAY 第七巻



有限会社 竹永海商

代表取締役 竹永 八幡郎

昭和4年、八幡浜の船上で生まれる。学徒動員で神戸製鋼軍需工場へ。戦後、砂浜上の打上げワカメを見て「干しワカメ」を思いつく。国東天然ワカメで儲かる漁業を目標に。水産庁勤務を経て帰郷。天然ワカメの乾燥加工商品化に向け試行錯誤を重ねた。昭和45年、父と竹永海商を創業。

◆初代カッター部長 中南米未開発漁場調査団 伝統製法の壁
2011年7～9月号掲載 MY WAY 第八巻



西日本エンタープライズ株式会社

顧問 手島 貞勝

大正15年、福岡県生まれ。飯塚商業学校卒業後三井鉱山に入社。戦後、エネルギー革命が進展する中、閉山危機に直面。経理課長として新会社山野鉱業(株)設立に尽力。新規事業として新産都指定で勢いある大分進出を検討。大分市新築住宅団地「富士見が丘ニュータウン」を誕生させた。

◆大惨事ガス爆発 637筆の山林と162人の地権者 創造的な破壊
2011年10～12月号掲載 MY WAY 第八巻



株式会社 浜繁水産

代表取締役会長 浜永 和明

昭和5年、宇佐市生まれ。幼少期を飯塚で過ごし終戦を機に家族全員で長洲に。両親を見習い海産物行商の道へ。網元・浜永家の養子となり、地元「赤エビ」商売、「冷凍むき海老」の中国・米国輸出、「冷凍海老フライ」冷凍食品と事業取引を拡大。昭和35年、「浜繁水産」を設立。

◆青年宿 えび舎 不思議な体験・手相占い ゴルフの上手な家系
2012年1～3月号掲載 MY WAY 第八巻



つるみ観光株式会社 ホテル白菊
代表取締役会長 **西田 友行**

昭和17年、別府市生まれ。昭和4年に父が開業した「サロン・ツルミ」が発祥。法政大学卒業後に入社。「九州観光旅館連絡会」に出向、大阪案内所で営業基礎を磨く。「ぼんつるみ」でショーを手配。長兄急逝により3代目社長に就任。公職にも就き別府温泉、大分県観光の発展にも尽力。

◆「ぼんつるみ」竣工 毎月26日は風呂の日 ひげと冬の花火
2012年4～6月号掲載 MY WAY 第八巻



株式会社 ざびえる本舗
代表取締役 **太田 清利**

昭和21年、大分市生まれ。実家は菓子製造・長久堂の仲卸。運輸会社の港湾土木関連やUCC上島珈琲勤務を経て家業を継ぎに帰郷。社長に誘われ営業課長として長久堂入社。平成12年会社が倒産。長久堂の部下とともに新会社「ざびえる本舗」を設立。「ざびえる」「瑠異沙」を復活させた。

◆ラック寮 ビロード調の箱 盛和塾入塾 先を見通す力
2012年7～9月号掲載 MY WAY 第八巻



九重森林公園株式会社・九重森林公園スキー場 代表取締役
豊州建設株式会社 取締役会長
安部 武己

昭和16年、九重飯田高原生まれ。大分工業高校卒。県内業界トップの建設会社勤務を経て昭和38年に帰郷。父が設立の休眠会社「豊州建設」の専務取締役に就任。45歳で九重町議会議員に当選。仲間と「九重氷の祭典」を企画開催し、その時の経験から「スキー場建設」を思いつく。

◆公共事業見直し 九州でスキー場 「九重“夢”大吊橋」開業
2012年10～12月号掲載 MY WAY 第八巻



生活工房 とうがらし
主宰 **金丸 佐佑子**

昭和16年、西宮市生まれ。疎開先の宇佐市長洲で育つ。高校家庭科教諭として教育に携わる傍ら「伝え続けたい伝承料理」を研究。食を通じた交流の広がりや「日常にある食を伝えたい」との抽象的気持ちを具象化した工房である「生活工房とうがらし」を創設。食文化普及に尽力。

◆天知る。地知る。己知る。大分の伝承料理 むか床100年祭
2013年1～3月号掲載 MY WAY 第八巻



由布院 株式会社 玉の湯
代表取締役会長 **溝口 薫平**

昭和8年、玖珠郡生まれ。高校卒業後、8年半の長期療養生活を過ごした。この間に人脈を築くことに腐心。日田財界の先輩達から「男の流儀」を学ぶ。日田市立博物館勤務を経て、「玉の湯」経営に参加。辻馬車運行や湯布院映画祭開催など「ゆふいん」というブランド構築に尽力。

◆野暮ではない、粋な振る舞い 新聞五回掲載 小林秀雄先生
2013年4～6月号掲載 MY WAY 第九巻



上北森林再生株式会社 代表取締役社長
うすき製菓株式会社 相談役
(元臼杵市長、元大分県議会議長)
後藤 國利

昭和15年、臼杵市生まれ。一橋大学卒業後、三菱重工業勤務を経て帰郷。ホール看板設置やCM放映、サンプル配布など工夫し「後藤散」の知名度向上に注力。県議会議員5期務めた後、臼杵市長に就任。全国自治体に先駆けてバランスシートを導入し財政再建。森林経営にも力を注ぐ。

◆風成闘争 日本経済勉強会 臼杵市財政再建 任運騰騰 森林再生
2013年7～9月号掲載 MY WAY 第九巻



社会医療法人財団 天心堂
会長 **松本 文六**

昭和17年生まれ。大分市中戸次の開業医の長男。九州大学医学部在学中は学生自治会委員長として活躍。小児科の臨床医となり、珍しいこどもの病気を数多く経験。昭和55年「天心堂へつぎ病院」を創設し院長に就任。地域医療に本格的に取り組み始めた。介護・福祉領域でも地域に貢献。

◆無期限ストライキ 医療被害者の運動 なんとかする医療
2013年10～12月号掲載 MY WAY 第九巻



株式会社 亀の井別荘
取締役会長 **中谷 健太郎**

昭和9年、由布院生まれ。明治大学卒業後、東宝撮影所助監督として「日本誕生」や「大番」等の映画製作に携わる。右腕を抑えてしゃがみ込んだ母の姿で帰郷を決意。本多静六博士の文献と出会い、ドイツ保養温泉の各地を視察。ホスピタリティ体験はまちづくりの原動力となった。

◆母親の右腕商法 牛一頭牧場主運動と牛喰い絶叫大会
2014年1～3月号掲載 MY WAY 第九巻

MY WAY 私の歩んできた道 100人を振り返る



株式会社 ブンゴヤ薬局
 有限会社 ブンゴヤエンタープライズ
 取締役会長 庄司 順子

昭和10年、大分市生まれ。学生時代はスポーツ万能。栄養士を目指し東京家政短大に進学。卒業後、住友化学大分工場社員食堂で千人分の賄いを担当。結婚後は「120点の商家の妻になる。一生を賭けて稼ぐ」と決心。「老舗漢方薬局」だけではなく「福祉」「不動産」など事業の多角化を手掛ける。

◆国体選手 着々と不動産に投資 頭の中にはいつも商売の絵
 2014年4～6月号掲載 MY WAY 第九巻



大分石油株式会社 相談役
 大分県食品衛生協会 会長
 宇佐神宮・国東半島を世界遺産にする会 会長
 永岡 恵一郎

昭和8年生まれ。幼少期を朝鮮半島の京城（現ソウル）で過ごす。戦後引き揚げ豊後高田に。東京大学卒業後三井物産勤務を経て、父の経営する永岡鋼業に入社。大阪府四条畷新工場の建設、閉鎖を経験。昭和48年社長就任。大分県議会、教育委員会、食品衛生など幅広い分野で要職を務める。

◆本業を続けるな、本業を離れるな 大分合同新聞コラム「灯」
 2014年4～6月号掲載 MY WAY 第九巻



社会医療法人 玄真堂
 川島整形外科病院 理事長
 医学博士 川島 真人

昭和19年生まれ。父は戦病死し歯科医の母に育てられる。高校2年時の感動体験から医者を目指し東京医科歯科大に進学。卒業後、虎の門病院で医療技術経験を積む。九州労災病院で整形外科臨床の傍ら「潜水病」研究を続ける。昭和56年、中津市宮夫の地に「川島整形外科医院」を開院。

◆相互扶助の精神 潜水病と骨壊死 中津の医学史 杉田玄白賞
 2014年10～12月号掲載 MY WAY 第九巻



大分交通株式会社
 代表取締役会長 幸重 綱二

昭和16年生まれ。中央大学在学時に県選出の綾部健太郎代議士から「これからは交通と観光関連の産業が伸びる」と助言を受け、卒業後に大分交通へ入社。平成13年社長就任。事業の“選択と集中”を進め、不採算事業からの撤退・廃止のほか、“D-plaza”の新設など、大胆な経営改革を行う。

◆馬車常の挑戦 労働組合 秘書課への異動 バス事業の経営とは
 2015年1～3月号掲載 MY WAY 第十巻



一般財団法人中津江村地球財団
 理事長 坂本 休

昭和5年生まれ。国民学校高等科を卒業後、父の仕事を手伝いながら青年学校や青年団活動に参加する。村議会議員を経て、平成8年、中津江村長選挙に初当選。鯛生スポーツセンターの知名度向上のため、2002FIFAワールドカップ公認キャンプ地への立候補を決め、出場国誘致のため奔走する。

◆小さな村の大きな挑戦 カメルーン代表到着騒動 指切り
 2015年4～6月号掲載 MY WAY 第十巻



有限会社 鈴木養鶏場
 株式会社 サザンカクロス野菜館
 代表取締役会長 鈴木 明久

昭和19年、台湾生まれ。父が戦後開拓事業により農業を始めるために、家族で速見郡藤原村に入植する。大分大学卒業後、中堅ゼネコンに入社。経理担当者になるが「起業したい」との思いは強く退職。経済学的視点から事業検討の結果、“若雌育成事業”を選択し、養鶏業に参入する。

◆やぶぎたの茶畑 飼料用米と豊の米卵 アニマルウェルフェア
 2015年7～9月号掲載 MY WAY 第十巻



川浪グループ
 会長 川浪 孝男

昭和8年生まれ。日田経理専門学校卒業後、建設会社に就職。昭和28年西日本水害が発生、三隈川氾濫にて自宅が被災。勤務先倒産による生活困窮時、自宅前の河岸に溜まった砂利に着目し「砂利採取業」を創業。土木資材の砂利需要は高く、企業基礎が固まる。26歳で「川浪組」を創業。

◆トンネル事故人命救助 蜂の巣城紛争 段取り八分、仕事二分
 2015年10～12月号掲載 MY WAY 第十巻



株式会社 長嶋不動産鑑定事務所
 会長 長嶋 敏行

昭和9年、井邑郡井州邑（現韓国井邑市）生まれ。上野丘高校卒業後、国税庁税務講習所に入り税務職員になる。熊本勤務時、「まだ勉強したい」と熊本商科大学夜間部で学ぶ。不動産鑑定士資格を取得するも神田税務署では活かせず、退職。大分県第1号の長嶋不動産鑑定事務所を開業。

◆生活力のある子ども 大分県第1号 新たな補償業務に挑戦
 2016年1～3月号掲載 MY WAY 第十巻



株式会社 大和電業社
代表取締役会長 **大西 和良**

昭和9年生まれ。中学校卒業後、米の品質検査員を目指し大分県農業試験場にて学ぶ。寮の室内配線改修工を手伝ったことを契機に、電気工事の道へ進むことを決意。業者の来訪を天啓に感じた。電気工事店に入社し、意欲的に知識や技術などを習得。昭和33年、「大和電業社」を創業。

◆命がけだった荷揚げ体育館の電気工事 二代目の経営者たちへ
2016年4～6月号掲載 MY WAY 第十巻



医療法人社団 淵野会
会長 **淵野 耕三**

昭和3年、父の赴任先・朝鮮半島生まれ。戦後はソ連軍占領下、伝染病罹患患者収容病院で働く。この悲惨な体験が医師を目指す大きなきっかけに。後に鹿児島医学校（現鹿児島大学医学部）で学び、37歳で精神科「淵野病院」を開設。以降、介護老人保健施設等々開設し機能充実を図る。

◆2度の脱出 大分いのちの電話 府内城を復元する会
2016年7～9月号掲載 MY WAY 第十巻



有限会社 藤野屋商店
代表取締役社長 **甲斐 正章**

昭和19年、竹田市生まれ。北九州大学商学部卒。在学中は校友会執行財務部長として活躍。デパート小倉玉屋勤務を経て父の病を機に帰郷、26歳で家業を継ぐ。商工会議所「若竹商研クラブ」での経営課題の発表が契機となり、菅生支店（後に本社移転）開設を実現、会社発展の礎となる。

◆藤野屋四百年の歩み 経営の要諦 桜梅桃李 大事な言葉
2016年10～12月号掲載 MY WAY 第十一巻



株式会社 二豊鉄工所
代表取締役会長 **戸高 信義**

昭和21年生まれ、旧南海部郡中野村（現佐伯市）出身。津久見高校機械科卒業後、「二平合板」に入社。工場内機械設備メンテナンスや修理を担当。26歳で鉄工所を創業し、独立・起業の夢を実現。3年後に法人化。当たり前のことを徹底的に行う「凡事徹底」が当社のモットーである。

◆くも膜下出血 のどかで楽しい生活 社員のための会社
2017年1～4月号掲載 MY WAY 第十一巻



株式会社 宇佐屋
代表取締役会長 **佐藤 正直**

昭和14年生まれ、中津の老舗企業「宇佐屋」の3代目。中学卒業後上京し慶應高校、慶応大学経済学部で学ぶ。卒業後は東京日本橋の館野栄吉商店勤務を経て、当社に入社。新たに始まった鶏肉販売や支店・営業所開設等に取組む。昭和55年に社長就任、平成20年に会長に就任。

◆モラロジー（道徳科学）の教え 大鏡餅の糯米は中津の米
2017年5～8月号掲載 MY WAY 第十一巻



渡辺水産有限会社
取締役会長 **渡辺 恵**

昭和10年、屋号となる初代・満恵丸の進水式当日に生まれる。佐伯豊南高校蒲江分校卒。大阪の帽子製造会社就職が決定していたが、母の言葉から再考、地元に残り家業を手伝う。連絡船業や真珠養殖業を経て、魚養殖事業を展開。水族館の熱意に共感しシマアジ孵化研究に多方面で協力。

◆多品種養殖へ拡大 水深40メートルでの体験 毎日つけた日誌
2017年9～12月号掲載 MY WAY 第十一巻



学校法人岩尾昭和学園
昭和学園高等学校
理事長 **草野 義輔**

昭和22年、日田市豆田町「草野家住宅」で出生。第12代草野本家当主。中学3年のとき上京し、都立大付属高校、埼玉大学経済学部で学ぶ。日産ディーゼル工業勤務を経て31歳のときに夫婦で日田に戻り跡を継ぐ。42歳で岩尾昭和学園の第4代理事長に就任。座右の銘は「継続は力なり」。

◆皇太子殿下のご来訪 歴史ミステリー伝「秀長の鎧」
2018年1～4月号掲載 MY WAY 第十一巻



豊後通運株式会社
代表取締役会長 **中島 茂樹**

昭和19年生まれ。両親がいずれも早生まれ、日出町の母方祖父母に厳格に育てられる。大分大学附属中学、大分舞鶴高校、日本大学経済学部産業経営学科卒。鶴崎海陸運輸勤務を経て、23歳のとき祖父が社長の豊後通運に入社。36歳で日出営業所長に昇進、53歳で社長に、67歳で会長に就任。

◆担任の井ノ口先生に助けられる 天に向かってつばを吐くな
2018年5～8月号掲載 MY WAY 第十一巻

MY WAY 私の歩んできた道 100人を振り返る



有限会社 但馬屋老舗
代表取締役社長 **板井 良助**

昭和24年、竹田市生まれ。創業200年を越え、代表銘菓「三笠野」「荒城の月」で知られる老舗和菓子屋の6代目。北九州大学外国語学部米英学科卒。30歳で社長に就任、和菓子にこだわるとともに機械化を推進。町おこしでは町並みを保存し「能の文化」と「お茶の文化」の二本立てを提案。
◆外交官にあこがれる 豊後岡藩土龍会 焼きたての三笠野
2018年9～12月号掲載 MY WAY 第十二巻



南陽山 勝光寺
住職 **南 慧昭**

昭和17年生まれ。大友氏初代当主建立の大分市竹中「勝光寺」16代目住職。歌手南こうせつは実弟。舞鶴高校では水泳部と応援団、鹿児島大学では男声合唱団で活躍。食品メーカー・キュービー(株)入社。子会社(株)ヴェルデ社長を経て寺を継ぐ。仏心は歌心として「出前歌説法」に取り組む。
◆パンの耳の思い出 歌声喫茶 子どもたちに慈しみの心を
2019年1～4月号掲載 MY WAY 第十二巻



社会医療法人関愛会 会長
(こうざきクリニック院長)
長松 宜哉

昭和29年、竹田市生まれ。小中時代は剣道で心身を鍛錬。父の教えや「赤ひげ」に触発され竹田高校入学時に医師の道を決意。自治医科大学卒業後は県立病院、三重病院、本匠村因尾診療所、佐賀関町立病院等に勤務。大分市合併前に町立病院民営化に奔走、「関愛会」佐賀関病院を開院。
◆脳裏に焼き付いた地区民総出の見送り 地域社会との絆
2019年5～8月号掲載 MY WAY 第十二巻



ワタナベメディカルグループ
株式会社 ワタナベ 株式会社 ケイジーエス
アドテック株式会社 シンセラ・テクノロジーズ株式会社
代表 **渡辺 幹雄**

昭和22年、大阪市生まれ。大阪薬科大在学中は軽音楽部でドラムに夢中。台糖ファイザーに就職し営業活動で活躍。父の病を機に30歳で退職、帰郷し「渡辺薬品」を個人創業。以後、幾多の苦労を重ね、紆余曲折を経て、グループ全体社員200名の企業規模に成長。平成28年宇佐商工会議所会頭に就任。
◆インフルエンザ診断キットの誕生 宇佐神宮絵馬堂寄進
2019年9～12月号掲載 MY WAY 第十二巻



株式会社 NBS ロジソル
代表取締役会長 **十時 康裕**

昭和22年、茨城県生まれ。東京工業大学工学部卒。東京重機工業で日本針マシン設計を行い、ソ連等にて技術指導。33歳のとき日豊運輸に入社。経営改革やTQC活動を導入。阪神大震災や東日本大震災で救援物資を輸送。経営するに当たり「諸行無常・遠因・心高身低」の3つを心がけた。
◆ソ連「エストニア」での技術指導 新歌舞伎座へ「緞帳」輸送
2020年1～4月号掲載 MY WAY 第十二巻



公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団 副理事長
別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー
伊藤 京子

北九州生まれ、東京藝術大学音楽部ピアノ科卒。約10年間のドイツミュンヘン留学中に憧れのマルタ・アルゲリッチと運命的な出会いを果たす。平成11年、別府アルゲリッチ音楽祭の総合プロデューサーに就任。地域の人々と一緒に地道に実績を積み上げ、世界的音楽祭の名声は年々高まった。
◆ついにアルゲリッチと奇跡の3日間 芸術と行政のかかわり
2020年5～8月号掲載 MY WAY 第十二巻